

危険物発見箇所周辺環境調査(平成16年度)について

<平塚版 平成16年7月16日>

発行・編集 環境省環境保健部環境リスク評価室、神奈川県防災局災害対策課、平塚市防災安全部防災課

環境省では、相模海軍工廠化学実験部跡地の環境調査を平成15年度から行っており、平成16年度も引き続き環境調査を行う予定にしております。平成16年度調査の第一次調査を平成16年7月から8月にかけて実施する予定ですので、よろしくご協力お願い申し上げます。

1)地下水調査

内容:ジフェニルアルシン酸等のあか剤関連物質については、対象地(旧相模海軍工廠化学実験部跡地)周辺に存在する井戸216カ所の井戸水調査を進めていますが、マスタード関連物質、ルイサイト関連物質等の毒ガス関連物質が地下水に含まれていないか調査を行います。

場所:対象地の内の井戸2カ所および周辺(北東部)の井戸3カ所

時期(予定):平成16年7月30日(金)～8月5日(木) (雨天等の場合は延期して改めて調整)

2)環境大気調査

内容:大気中に毒ガス関連物質が含まれていないか調査します。

場所:対象地全域を31区域に分け、各区域で複数点で測定します(測定点の合計62点)。

時期(予定):平成16年7月30日(金)～8月14日(土) (雨天等の場合は延期して改めて調整)

3)物理探査(磁気探査及びレーダー探査)

内容:物理探査(レーダー探査及び磁気探査)を実施し、地下数メートルまでに異物が存在しないか調査します。

場所:裸地が対象です。ただし、地歴等調査で旧軍の建物があつたところや過去に当時の地表面から3m以上の掘削履歴が判明しているところは除外し、植栽など物理探査の困難な場所は今回の調査の対象外とします。物理探査面積は合計2,700m²です。(裏面参照)

時期(予定):平成16年7月23日(金)～7月25日(日) (雨天等の場合は延期して改めて調整)

4)土壌調査

内容:表層の土壌(地表面から50cm程度まで)に毒ガス関連物質が含まれていないか調査を行います。100m²を1区画として、最大で9つの区画内(900m²)から採取した土壌を混合し1検体として分析します。

場所:平塚市美術館1検体(6カ所)、平塚市駐車場1検体(5カ所)、神奈川県合同庁舎別館駐車場1検体(8カ所)(物理探査が終了した裸地を対象とし、深さ1m以上の土壌の入れ替えや掘削等の情報がある区域は除外します。)(裏面参照)

時期(予定):平成16年7月30日(金)～8月2日(月) (雨天等の場合は延期して改めて調整)

ご質問・ご相談は、下記窓口にご連絡ください。

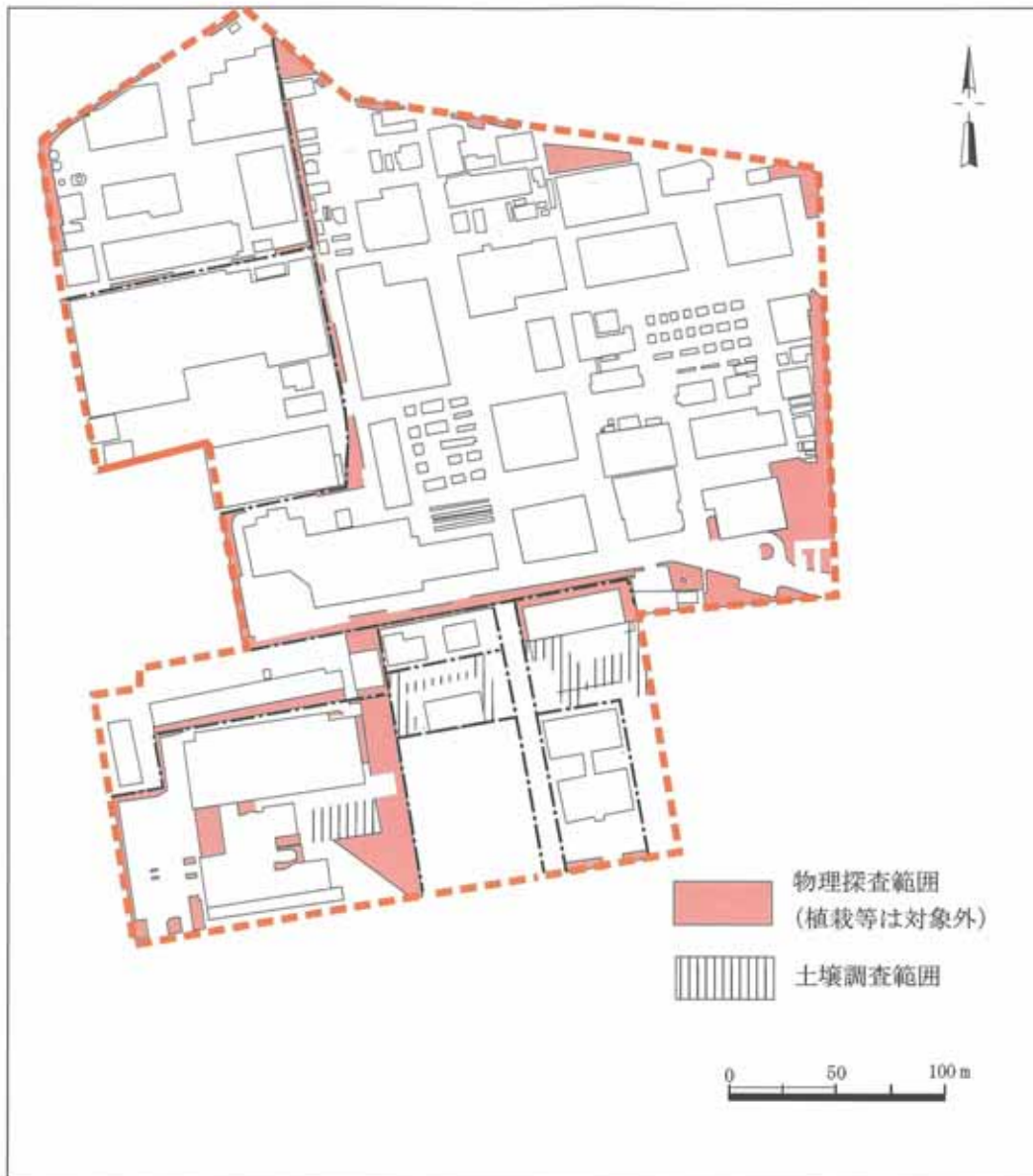
環境省環境保健部環境リスク評価室 03-3581-3351

神奈川県防災局災害対策課 045-210-3513

平塚市防災安全部防災課 0463-23-1111

(裏面に続く)

< 物理探査及び土壌調査地点図 >



注) 環境大気調査は全域を対象としています。